

コンバーティング総合情報誌

コンバーテック

ISSN 0911-2316 **CTI**加工技術研究会

CONVERTECH

2012

3

No.468

www.ctiweb.co.jp

特集I:極める薄膜形成技術

特集II:フィルム・シートと製膜技術

事業継続計画 (BCP)

◆480kW/hの自家発電機を導入

大成ファインケミカル株式会社は、本社・工場の機能を維持できる自家発電機を、今年3月から稼働させる。これにより、停電時でも事業所のほぼすべての電力を供給可能。

既存の自家発電機は、製造工程における反応装置の攪拌機の電力を確保し、安全確保を目的として必要最小限の電力供給(182kW/h)を目的に、1996年に導入。しかし、昨年の東日本大震災で被災した本社・工場では、震度6強でも安全性を維持し、事業を継続することを目標とした事業継続計画(BCP)の作成とその活動を進めてきた。その活動の一環として、事業所

に必要な電力をすべてまかなえる自家発電機(480kW/h)を導入。

BCPは、東京営業所にて、東京都の「BCP策定支援事業」の認定を受け、ニュートン・コンサルティング株式会社の指導下で作成。また、生産・物流の拠点である本社・工場では、自家発電機本体を総額約4,500万円で設置。一部を千葉県より「中小企業電力確保支援事業」の認定で補助金を受け、残りの資金は国の震災金利補助制度を受けた。